第二次佐久市総合計画 将来都市像 検討用資料

1 佐久市総合計画審議会(H28.1.22)で審議した「10年後に目指すまちの姿」の考え方

(1)世代や住む場所、働き方にかかわらず、希望を持って「安心・安全、豊かさ、幸福、満足を実感できるまち」

(2) 生活の質を高め、地域を支え合うことができる 「健康な暮らしを営めるまち」

(3) 地域が活性化する

(4) 地域が活性化する

(5) 人口が減少しない

(6) 人口が増加する

(7) 人口が増加する

「結びつき、交流のあるまち」

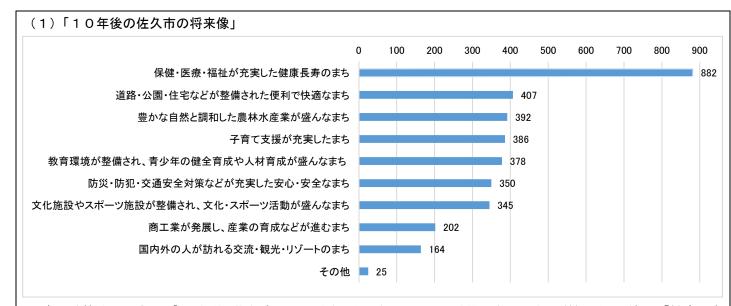
「発展、前進し続けるまち」

「住み続けることができるまち」

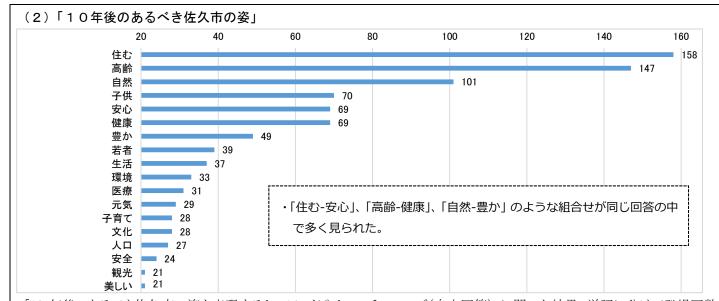
「住みたい(選ばれる)まち」

「質の高い働く場のあるまち」

2 H27 市民アンケートで回答の多かった「10 年後に目指すまちの姿」



・現在の政策分野に応じて「10 年後、佐久市にどのようなまちになってほしいと思うか(2つ選択回答) 間いた結果、「健康長寿 のまち」になってほしいという回答が一番多かった。



・「10 年後のあるべき佐久市の姿を表現するキーワードやキャッチフレーズ(自由回答)」に聞いた結果、単語に分けて登場回数 20 回以上を見ると、「暮らし(住む、生活、子育て)」に関するものや、「自然」、「健康(医療、元気)」といった特徴や、「安心」、 「豊か」といった感情、「高齢」、「子供」、「若者」といった幅広い年齢層に係るものが多かった。

(「人」、「まち」のような一般的な語は除外して計上、「住みたい」、「住める」は「住む」に、「高齢者」、「年寄り」は「高齢」に統一)

3 「10年後に目指すまちの姿」に向けて特に力を入れるべきまちづくりの視点 の候補

【10年後に佐久市に住むひとがこうなっていると良い、こうなるように10年間取り組む。】

・幸福

(市民が幸福を実感できるまち)

・豊かさ

(市民が(暮らしや心の)豊かさを実感できるまち)

・安心・安全

(市民が(暮らしや子育て・老後等の)安心・安全を実感できるまち)

• 健康

(市民が健康を実現できるまち、高齢になっても健康で暮らせるまち)

【10年間に佐久市にこういう動きがあると良い、こういう動きが生まれるように10年間取り組む。】

■ 一体感

(地域や市民の一体感や絆があるまち)

・つながり・交流 (地域内外のつながりや世界や未来とのつながりを生かすまち)

・活力・魅力

(地域ににぎやかさや楽しさ、働く場があるまち)

・発展・挑戦

(新しい発展・開発に挑戦し続けるまち)

【10年間このようなもの(良さ)を暮らしの基盤として生かしていく。】

文化

(文化を継承し、享受できるまち)

• 自然

(豊かな自然を守り、共生するまち)

【様々な取組により、このような形(成果)になるように 10 年間取り組む。】

• 人口減少克服

(自然増、社会増により人口減少を克服するまち)

住みやすさ

(暮らしの快適さがあり、住み続けたい、住みたいまち)

(内部検討)



- 🔺 🛈 これらのまちづくりの「視点」から、10 年間で特に力を入れるものをいくつか絞り込む
 - **② 絞り込んだまちづくり「視点」に合った表現をして、将来都市像の「案」をいくつか策定**

4 まちづくりの「視点」に応じた表現の例

視点候補	表現例
• 幸福	幸福、幸せ、笑顔、夢、希望
・豊かさ	豊かさ
・安心・安全	安心、安全
• 健康	健康、健やか、元気
• 一体感	一体感、絆、助け合い、支え合い
・つながり・交流	つながり、交流、未来、世界
・活力・魅力	活力、魅力、輝く、咲く
・発展・挑戦	発展、可能性、挑戦、前進、創造
・文化	文化
・自然	自然(豊か、美しい)、共生、晴れやかさ、
- 人口減少克服	選ばれる、住みたい、希望の実現
・住みやすさ	住みやすさ、心地良さ、快適さ